

一 国語辞典で先に出てくる言葉に○をつけましょう。

例、( ) (○) (ごくげ) ( ) (たいいく)

(1) ( ) (りか) ( ) (○) (ごうとく)

(2) ( ) (○) (ひろい) ( ) (ふかい)

(3) ( ) ( ) (きつね) ( ) (○) (きつて)

(4) ( ) (○) (じゆう) ( ) ( ) (じゆう)

(5) ( ) ( ) (しんくう) ( ) ( ) (○) (しんぐ)

(6) ( ) (○) (スタンド) ( ) ( ) (スタンプ)

(7) ( ) (○) (だいだ) ( ) ( ) (だいだい)

二 文の中で、いろいろに形をかえる言葉があります。国語辞典では、例の投げるの  
ような見出し語で出ています。——線の言葉を見出し語になおしましょう。

例、友だちが**投げた**ボールを、しっかりとキャッチした。

投げる

(1) わたしが**かいた**絵が、作品展で優秀賞にえらばれた。

かく

国語辞典は  
五十音ゆんに  
なってるよ。



点

一次の文で、主語 何が何は だれがだれは にあてはまる言葉をえらびましょう。

例 お兄ちゃんがおじいちゃんに電話をしました。 お兄ちゃんが

(1) わたしは、校庭で、友達と遊んだ。

わたしは

(2) 犬が、公園で、走っていた。

犬が

(3) 花が、きれいにさいている。

花が

点

(4) 太陽は、東からのぼる。

太陽は

二次の文で、述語 どうする 何だ なんだ にあてはまる言葉をえらびましょう。

例 きりんが、えさを 食べる。

(1) おばあさんは、夕はんのメニューを 考えた。

考えた

(2) おんがくしつ 音楽室から、歌が 聞こえた。

聞こえた

(3) はりの あなは、小さい。

小さい

